

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

公山城（コンサンソン、韓国語: 공산성）は、大韓民国忠清南道公州市郊外の山に築かれた百濟時代の山城。

概要

公州市街と錦川に隣接する山に築かれた周囲長約2,660m^[1]の城壁に囲まれた山城。復元された城壁内には世祖4年（1458年）に創建された靈隠寺がある^[1]。

百濟の首都が熊津（ウンジン、現在の公州）であった時代の山城であり、文周王が475年（文周王元年）に漢城（現在のソウル）から遷都した際に建造、その後538年（聖明王16年）に扶余に遷都するまで64年間に渡り、王都の防衛設備であった。熊津城とも呼ばれる。

北側を錦川に隣接し、東西に800m、南北に400mの長方形をなしている。高麗時代より「公山城」と呼ばれるようになった。従来は土城だったが、李氏朝鮮の宣祖、仁祖時代に石城に改築された。

域内には、錦西楼、鎮南楼、拱北楼、双樹亭、明国三将碑、双樹山城史跡碑、靈隠寺、蓮池、挽河楼、臨流閣、光復楼等の建造物、石碑がある。

脚注

- ↑ ***a****b* 公州 公山城〔ユネスコ世界文化遺産〕 韓国旅行、韓国ツアー (http://japanese.visitkorea.or.kr/jpn/TE/TE_JA_7_1_1.jsp?cid=281271)

関連項目

- 百濟考古遺跡

外部リンク

- 韓国観光公社ウェブサイト・公山城 (http://www.konest.com/contents/spot_mise_detail.html?id=3082)



公山城



公山城・公山亭

公山城	
各種表記	
ハングル	공산성
漢字	公山城
発音	コンサンソン
ローマ字	Gongsanseong

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=公山城&oldid=78873498」から取得